

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 254 号 2019. 6. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者が互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

環境と人に優しい♪ 三味頒布会

6月8日(土)の三味頒布会(千葉県船橋市)には、47名の方々が来場されました。

リピーターさんや、自宅でミニトマトを作っている野菜好きのご家族も来られ、自然農法と有機の人参の匂い比べをして、すぐに自然農法の人参を当てて喜ばれ、熱心にセミナーも聞かれました。

また10日前に、たまたま近くのガソリンスタンドに来て、頒布会のお知らせ看板を見て、チラシを持ち帰られた方から、「昔、父が自然農法をやっていました。こんな近くにこういう場所があったんですね。頒布会には必ず行きます」と電話があり、当日来られて、ほとんどの野菜を買われて、「7月のワークショップにも家族で来ます」と申し込みをされました。

セミナーでは、加工食品診断士による食品添加物の話や、市場で売られている人工イクラを、その場で食品添加物を組み合わせて作る実験を行い、実際に化学物質のみでイクラが出来ることに皆さん驚かれました。通りがかりの方も、買い物だけと入ってこられました。ちょうどセミナーが始まるタイミングで話を聞かれ、おにぎり、お味噌汁、イチゴムースと全部召し上がり、来られたときと違い、笑顔でじっくりと野菜を見て、たくさん買って帰られました。

また、スタッフのフェイスブックを見て、初めて来られた方は、動物性のものを一切食べない方で、自然農法の野菜だけのおにぎりセットを、「おいしい」と言って召し上がり、自然農法の土の説明や、セミナーをじっくり聞かれ、場内に展示しているパネル等の写真をたくさん撮って、ご自分のフェイスブックに載せて、「オーガニックとも有機とも違う自然農法、地球環境にも人間にも優しい」と、TOREK 自然農法を紹介されていたことに感動しました。

来場された方々に、「今度いつやるの?」と聞かれ、頒布会を毎月させていただくことの大切さを感じました。今後も頒布会を通し、スタッフ一同、自然農法のすばらしさを多くの方々へお伝えさせていただけるよう取り組んでいきたいと思っております。(頒布会スタッフ)



三六九会 お茶摘み 2019

5月26日(日)、埼玉県入間市の三六九会農園でお茶摘みを行いました。

今年は4月から気温が上がらず、ゴールデンウィークも雨が多く、茶葉の生育が遅れていました。当初は18日お茶摘みの予定でしたが、5月になっても新芽が出ていない状態で、26日に延期になりました。また5月4日には、テレビや新聞でも取り上げられていましたが、とても激しい雹(ひょう)が降り、付近の農作物に被害がありました。しかし、三六九会の茶畑では、少し伸びていた葉には傷が付きましたが、大きな被害はありませんでした。とても心配でしたが、その後は少しずつ気温も上がって、茶葉も伸びはじめ、26日は今年初の猛暑日となりました。

例年より生育は良くなかったのですが、それでも68.5kgの収穫ができ、係一同感謝いたしました。お茶工場の方は「摘めただけよかったね。今年は摘めなかった人もいますよ」と言っていました。お茶農家さんでは、低温や雹により茶葉の色が悪く、畑の一部の収穫をあきらめた方もいたそうです。自然農法の茶木は雹が降ることを知っていて、それまで芽を出さなかったのではないかとさえ思いました。

また、大変暑い中、参加して下さった方は、大人68名と子供1名で、収量と同じ数字という奇跡が



起きました。また、枯れた古い茶木を取り除いた後から、新しい芽が出てくるようになり、数年後は大きくなってくれると思います。リフォームした小屋は以前より快適になりました。皆様、今後もよろしくお願いいたします。(責任者 高畑忠江)

今回の参加者の中に、スポーツ選手の食事作りを仕事にしている方がいました。スポーツ界では、カロリーで

食を管理する考えが主流で、そこに疑問を持ち、どんな生産者がどうやって栽培したものか、産地を訪ね、選び、手作りをして、食事を提供するようにしたそうです。すると選手から、「ひんぱんにしていた下痢をしなくなった」「筋肉がなめらかになってきた」等の反応があり、食が体に与える影響を痛感されたそうです。三六九会の茶畑とお隣の茶畑の葉の色を比べ、その違いに驚かれて、30年以上肥料や農薬を使っていない茶畑の尊さを感じられ、来年もぜひ参加したいとのことでした。本当に農薬や肥料を使っていない農産物を選手たちに食べさせたいと、後日、東中野にも来られ、たくさんの自然卵やお茶、野菜などを購入されました。(編集部)

作物で心身ともに改善 千葉県 高橋幸子

私は野菜が嫌いで、肉、魚中心の食事が多く、娘たちも、栄養調整食品やサプリメント、お菓子をたくさん食べる生活をしていました。そんなことから、生理痛、冷え症、身体はだるく、健康も思わしくありませんでした。長女が昨年、いつもより激しい腹痛にずっと苦しみ、何か食べるとますます痛みが増すので、次第に食物を食べるのが怖くなってしまい、何日か水だけで過ごしていました。

そんなとき、ワークショップ、食育指導士の方の茶話会に、娘と3人で参加でき、食物の大切さ、自然農法のお米や野菜の素晴らしさを学び、少しずつ自然農法の食物を食していったところ、心の病にもなっていた娘と、子育てに疲れて体調を崩していた娘の身体が良くなっていきました。特に長女の心の問題は、今年いっぱいかかるか、あるいはもう良くなるのではないかと考えていましたが、短期間で良くしていただき、食欲は前以上に出てきて、食べることができるようになりました。子育て中の娘も元気に明るい顔になってきました。6ヵ月になる孫も、自然農法の野菜と堀さんのお米のおかゆが一番好きで食べています。

自然農法の野菜は、一般と違って味は苦くなく、においもなく、たくさん食べられます。お米も皆おいしいといって食べ、すぐになくなってしまいます。私も何十年ぶりに熱が出ましたが、自然農法のほうじ茶とみかんジュースで乗り切ることができました。これからも、頒布会等での購入をしていきたいと思っております。



お知らせ

- ★ 自然農法勉強会 6月26日(水) 午前の部 10:30~ / 午後の部 19:00~ (別院講堂)
- ★ 自然農法頒布会 6月27日(木)、7月30日(火) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00 (売切れ次第終了)
- ★ 自然農法頒布会 7月7日(日) 東中野会場 10:00~15:00 (売切れ次第終了)

無施肥無農薬栽培物の販売予定

生産者の方々が直接販売されます。

7月3日 於: 伊都能売会館

東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- 市川生産グループ: 新茶、ほうじ茶、ほうじ茶ティーバッグミニ
- きじま平自然農産: 自然米、納豆、きな粉、甘納豆
- 菜園金野: キャベツ、玉ねぎ、人参、小松菜 ● 長柄山自然農園: 卵、挽き肉、ジャガイモ
- 中島農園: 梅、ブルーベリー、プラム、春菊、梅干し
- ジョリフィユ: みかんジュースゼリー、マドレーヌ、クッキー 他

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>